

有田——例えば公害問題というのは、数年前はやかましくいわれてたでしょう。最近はまだありませぬよ。もちろんよくなってきたからではあるけれども。しかしその状態を維持するためには相当の努力がなされているわけです。だからエネルギー問題にしても私はそうしなくてはいかんと思います。

おそろく代替エネルギーができるエネルギー問題意識は低下してきます。だけれどそのためには技術革新を絶えずやらなくてはいかんわけです。そういう努力が必要ですよ。

宮島——と同時に生活の場においても積極的に構造を変えていかないと、今の状態で節約といっても、量を減らすばかりなく、基本的な節約事項は何もないわけ

## もっと省エネのPRを

宮島——高度成長時代にセントラルヒーティングを取り入れた家庭も多いようですが、今年暖房器具の見直しが必要で

中上——自動車をかうにしても、ガソリン車よりディーゼル車の方が油もくわなし、軽油も安い、しかしガソリンの方が量的には多い、だからガソリン車を買うことになるんですがこれも省エネと逆

行しています。この辺も問題でしょう。

有田——問題は、その辺の情報収集、啓蒙宣伝のやり方ですよ。

だが、これを徹底させるとなると困難でしょうけれどもさらに努力してほしいと思います。

山下——私もともしても、いろいろ広報活動を考えています。

児童、生徒を対象にした省エネルギー



です。

友住——今はもう節約できるものは主婦の方たちは一応なさっておられるわけですよ。これ以上の節約といったら、そういった構造の問題になるでしょうね。

温度は低目に

暖めすぎは体に毒



ポスター募集、テレビ、新聞、消費生活ニュース等を活用しての呼びかけ、消費エネルギー生活展、資源とエネルギーを大切にする県民大会、省エネルギー県民運動といった啓発を行うことにしています。

宮島——精神的な啓発の他に具体的な目標もほしいですね。例えばマイカーの自粛、不用電灯の消灯、暖房のがまんなんというのがね。

それから深夜テレビもすごいですよ。テレビつけて、電気つけて、ストーブつけてでしょう。

山下——全国でテレビ放送事業をやるところが八十六社、この深夜放送を自粛しているのが二十八社、これは七月末現在です。さらにこれから自粛を予定しているのが十三社ということです。

今呼びかけて一番守られているのが、ガソリンスタンドの休日休業です。これは徹底してですよ。

中上——日曜日でも自動車は走っていますよ。

月に一回ぐらいノーカーデーをやったらどうでしょうか。

山下——四十八年にありましたが、今回はまだそこまではいけないようです。

四十八年の場合と違うのは、原油価格がいくら値上がりし、何月から実施されるというのが一般に報道されます。だから元売会社にしても、小売にしてもたがらぬ値上げはできないということ

となく続けねばなりません。

この北方領土を返してもらい、そして日ソ平和条約を結び、日ソ友好関係を安定した基礎の上に発展させたいというのが、わが国の願いです。したがって、北方領土の返還を求めるとは、反ソを目的としたものではありません。

わが国にとって大切な北方領土の返還は、ひとり根室や北海道の問題ではなく全国民の問題です。小笠原、沖縄が返還され、日中国交回復がなつた現在、北方領土の回復は、いまや戦後に残された全国民の最大の課題です。

この問題の解決には、国民一人一人が北方領土に深い関心を寄せ、返還運動が全国のみならず大きく盛り上がるということが不可欠です。

現在、総理府と北海道の提唱で「北方領土を目で見える運動」が展開されています。

北海道根室の納沙布岬に立ちますと、目の前に北方領土の一部である歯舞群島の島々が手の届くような近さに見ることが出来ます。

また、少し離れて本邦第二の島である国後の大きな島影が望めます。

この納沙布岬には、今年度から「望郷の岬公園」が整備され、同時に全国からの見学者のための展望、展示及び休憩施設として「北方館」も建設されます。

この公園の中心には、平和的なあらゆる手段を通じて北方領土の返還を求め続

す。

宮島——極端な場合、石油の割り当て制がでなければ、基本的に、家庭生活を変えなければなりませんよ。

友住——私は悲壯感を伴う前に今からやっていきたいと思えますね。自分自身が一番のエネルギーだと思って、手を使い足を使いしてですよ。

宮島——今年のオモチャはラジコンがよく売れましたが、ポイントが少ない電池で長く走るといふことでした。

山下——貴重なご意見をありがとうございます。さしあたり今年の問題、五歩節減にしましても、まだ県民に対する周知徹底が図られてない面もあるような気がします。

そしてこれが今年に限った問題ではないということ、そういうことも含めて、啓発を考えていかなくてはと思います。

また物を大事にする思想、これについても学校教育、青少年の活動教育の場等を利用しながらやっていく必要があると思います。

どうもありがとうございました。

反射板の汚れは熱効率を

わるい



ける全国民の決意と、その実現に向けての国民共通の願いを象徴するシンボル像が建設されます。

この事業は、全国民からの浄財約一億五千万円によって、昭和五十五年九月頃の完工を目安としております。

一日も早くシンボル像の建設ができれば、皆様のご協力とご支援を切にお願いします。

募集期間 昭和五十四年一月から同五十五年九月末まで  
募集目標額 一億五千万円

送金方法

・銀行振込

振込先 北海道拓殖銀行虎ノ門支店

東京公務部 普通預金口座

0027350

受取人 財団法人北方領土返還祈念

シンボル像建設協会

郵便局

振替口座 東京4-92589

受取人 財団法人北方領土返還祈

念シンボル像建設協会

財団法人北方領土返還祈念

シンボル像建設協会

会長 佐藤 朝生

〒102 東京都千代田区平河

町2丁目7番2号

全鮮連ビル内

電話(03)261-1035

(広報外事課)



## 復讐実現にあなただの力を

戦後、すでに三十有余年が経過し、日本国民の脳裡から、ようやく「戦争」の悲惨なイメージが消え去ろうとしております。

しかし、北方領土の祖国復帰が実現するまでは、真に戦後は終わったとはいえません。

北海道の根室半島と知床半島に抱きかかえられるように、指呼の間に連なるわが北方領土、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島は、戦後ソ連に占拠され、いまだに返還されていません。

これらの島は、歴史的にみて、われわれ日本人の父祖が苦勞して開拓し、私たちに残してくれた大切な領土です。第二次世界大戦が終わるまで一度も外国に支配されたことのない、まさにわが国土の一部です。

しかるにソ連は、昭和二十年八月九日日ソ中立条約を無視して対日参戦し、不当にも終戦後に至ってこれらの島々を占領し、この島に住み、この島で生まれた同胞をしめ出し、以来三十有余年にわたって占領を続けております。

世界が真に平和であるためには、このようなことが許されてはなりません。北方領土の返還を要求する国民運動は、真の平和を願い、世界の正しい秩序を求めてこれまで続いてきたところですが、これからも、この島々が祖国に還るまで、そして島で生まれ、育った人々がふるさとの土を踏むことができる日まで絶ゆるこ